

加賀市の現状と課題について

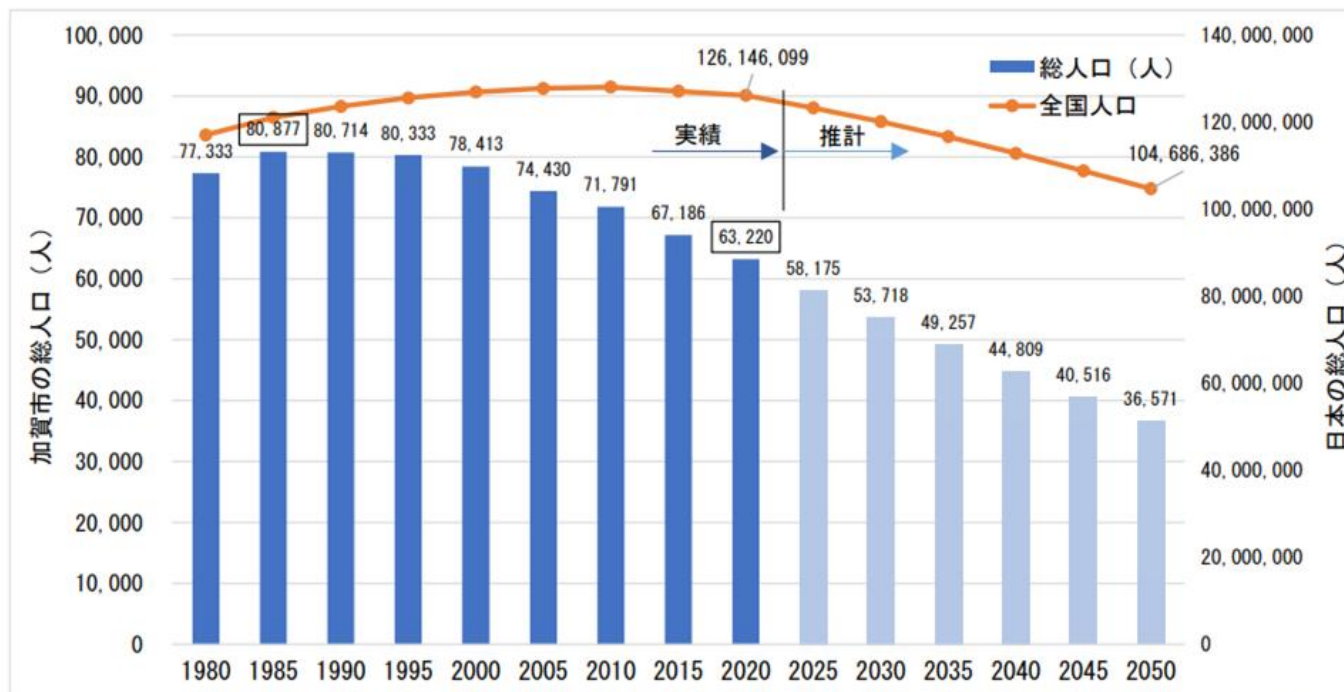
統計一覧

分野	統計	参考資料
人口	人口の推移 年齢3区分別人口の推移 出生数の推移 20代・30代の社会増減数の推移	高齢化率の推移 地区別人口・減少率一覧 女性人口の推移 自然増減・社会増減 未婚率の比較 年齢階級別人口移動の推移
財政	経常収支比率の推移 一般会計の基金残高の推移	財政規模の推移 市税の推移 市債残高
産業	事業所数と従業者数の推移	新規求人数の推移
観光	宿泊施設入り込み客数の推移	
健康	特定健診受診率の推移	体育施設利用者数の推移
交通		北鉄加賀バス乗客数の内訳推移 CANBUS乗客数の推移

01

人口

人口の推移



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）「日本の地域別将来推計人口」

※令和2（2020）年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、令和7年（2025）年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。総人口については、年齢不詳は除いている。

概要

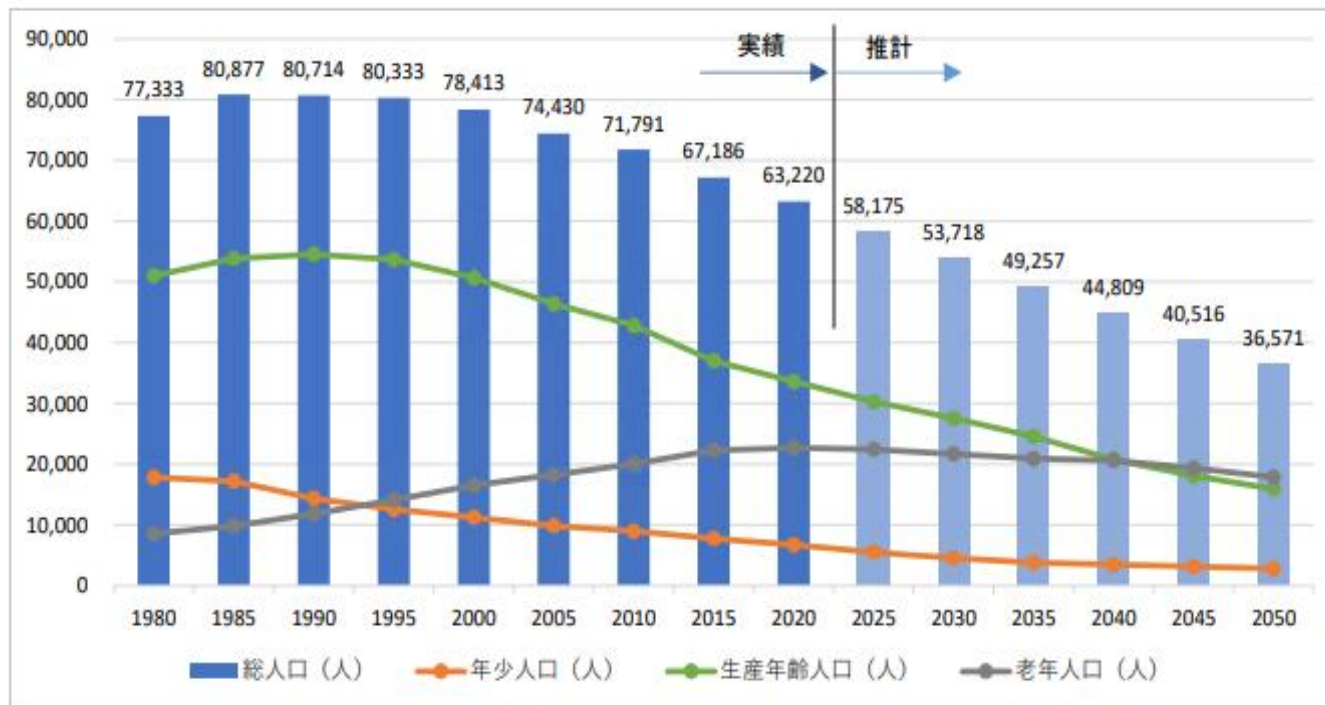
人口は、1990年頃をピークに減少が続いており、2020年には63,220人まで減少しています。

今後も人口減少は続く見込みで、2050年には36,571人まで減少すると推計されています。

人口規模の縮小により、公共施設・交通・地域活動を従来どおり維持することが難しくなります。

今後は「人口を前提にした拡大」から、「人口減少下でも暮らしを支える仕組み」への転換が必要です。

年齢3区分別人口の推移



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

※令和2（2020）年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、令和7（2025）年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。

概要

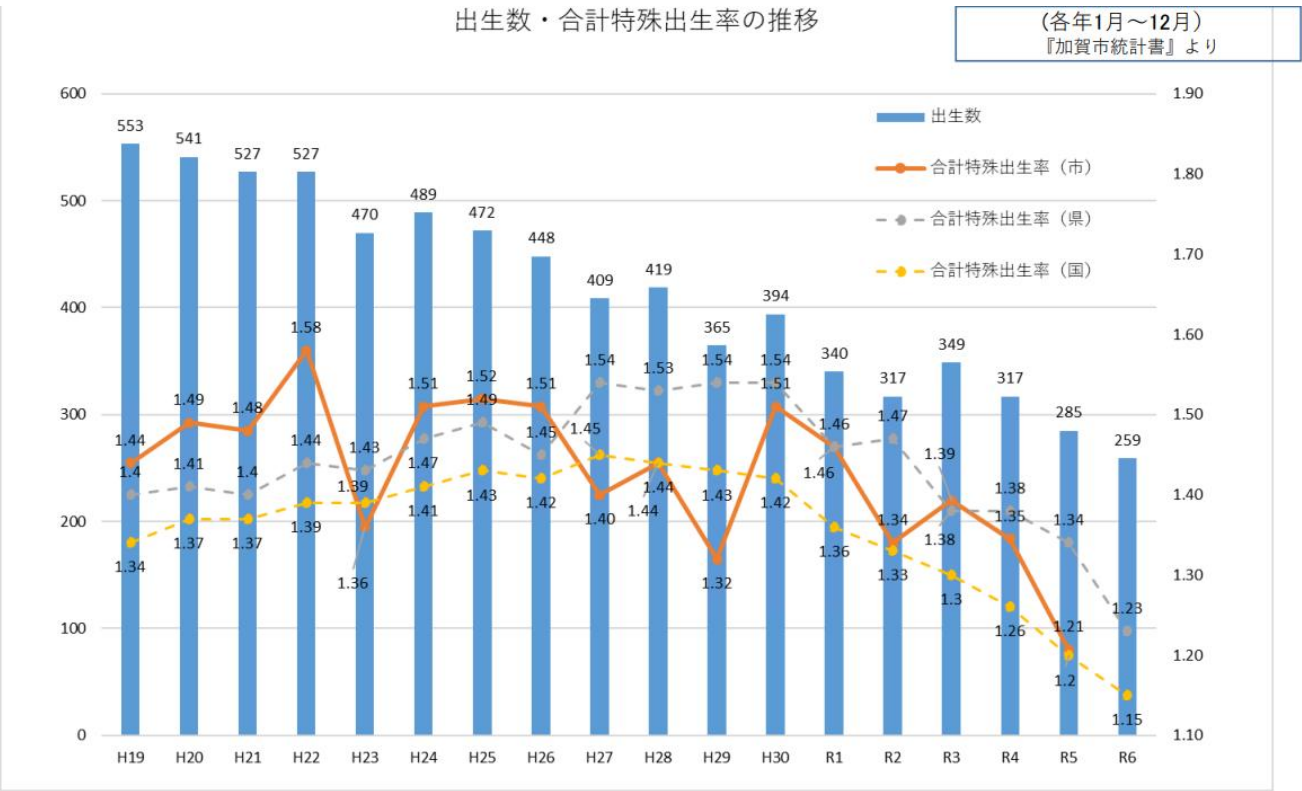
年少人口・生産年齢人口が減少し、老年人口割合が高まることで、まちを支える人口構造が変化しています。

働き手、地域活動の担い手、税収を支える層が縮小する一方で、医療・福祉・移動支援の需要は高まります。

人口の「数」だけでなく、年齢構成の変化を踏まえた施策の優先順位づけが必要です。

- ・年少人口：15歳未満（0～14歳）
- ・生産年齢人口：15歳～64歳
- ・老年人口：65歳以上

出生数の推移



出典：令和7年度第3回健康福祉審議会こども分科会資料

概要

出生数は、平成19年の**553人**から令和6年には**259人**まで減少しており、長期的に少子化が進んでいます。

合計特殊出生率は年度によって上下しているものの、近年は市・県・国ともに低下傾向が見られます。

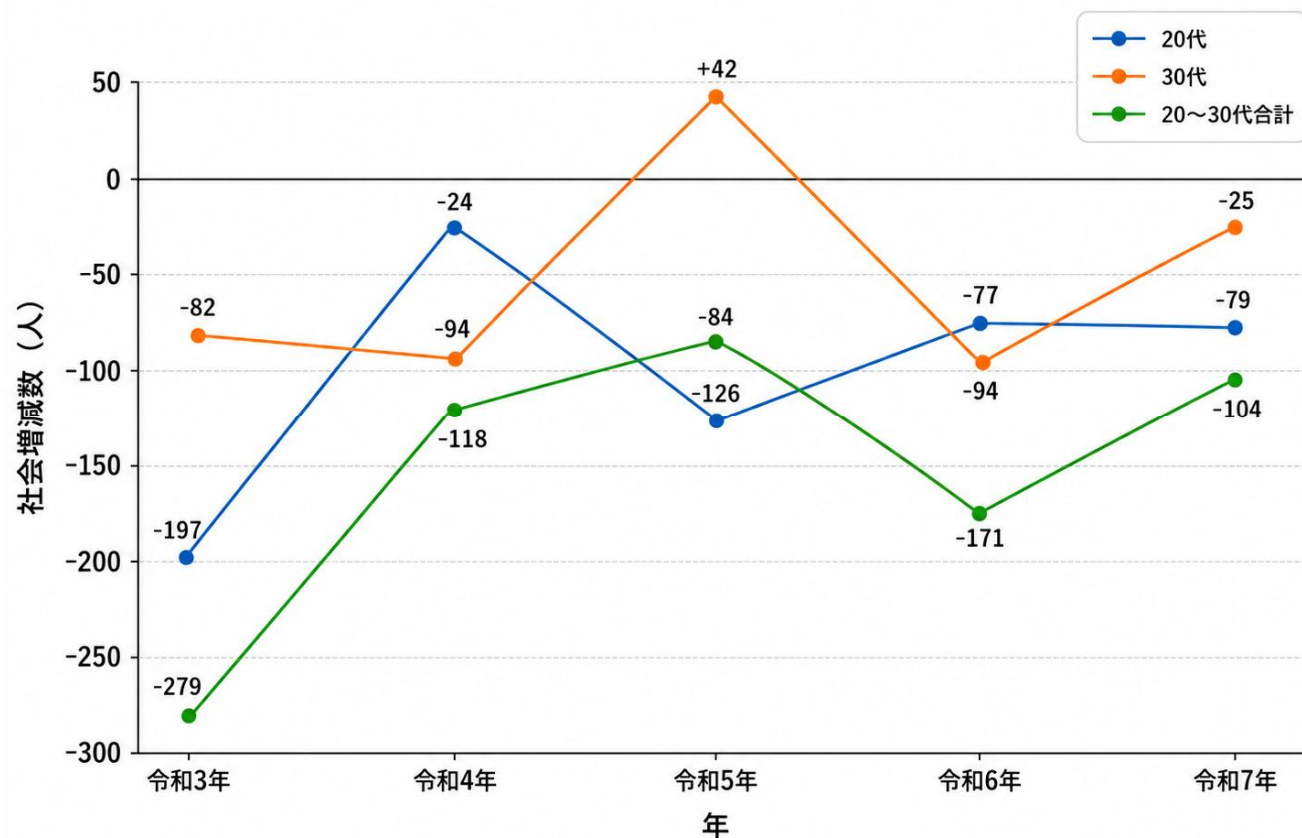
出生数の減少は、将来の児童生徒数、地域活動、産業人材の確保に影響します。

子育て支援だけでなく、結婚・出産・子育てを選びやすい暮らしや働き方の環境づくりが課題です。

学校・保育・地域活動など、子どもの数の変化を見据えた体制検討も必要になります。

若者・子育て世代の人口が毎年社会減となっている

20代・30代の社会増減数の推移



出典：加賀市統計書（年齢別人口移動状況）をもとに作成

概要

20代の社会減が全期間を通じて続いており、若い世代の転出超過が継続しています。

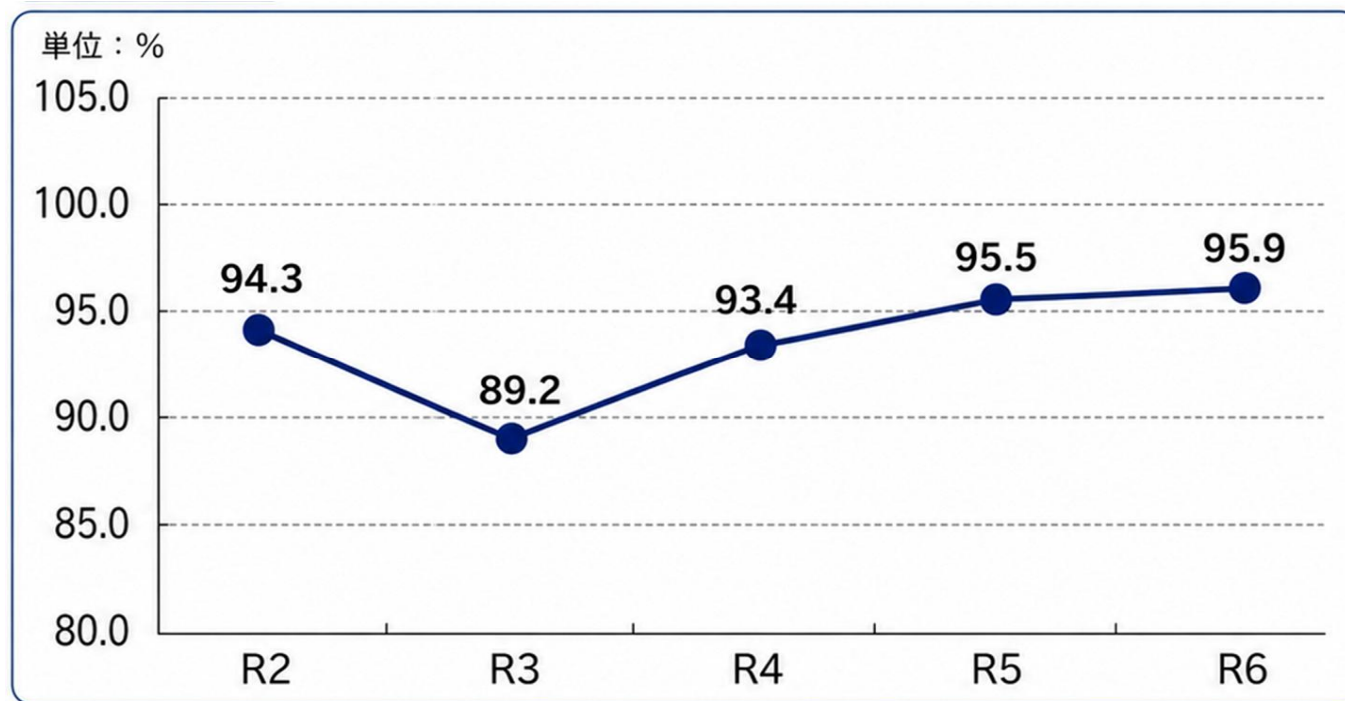
30代は令和5年に転入超過となったものの、全体としては転出超過の年が多く、20～30代合計でも毎年社会減となっています。

今後、若年世代や子育て世代が住み続けたいと思える環境づくりが課題です。

02

財政

経常収支比率の推移



出典：見てわかる加賀市の決算書令和6年度決算

概要

経常収支比率は、令和3年度に89.2％まで低下したものの、その後は上昇し、令和6年度には95.9％となっています。

経常収支比率が高い状態は、毎年必要な支出が大きく、政策に使える財源の自由度が小さいことを示します。

新規事業を追加するだけでなく、既存事業の見直しや優先順位づけが不可欠になります。

人口減少下では、将来負担を意識しながら、効果の高い分野へ財源を重点化する必要があります。

経常収支比率 = 自由に使えるお金がどれくらい残っているかを見る指標

(経常収支比率)

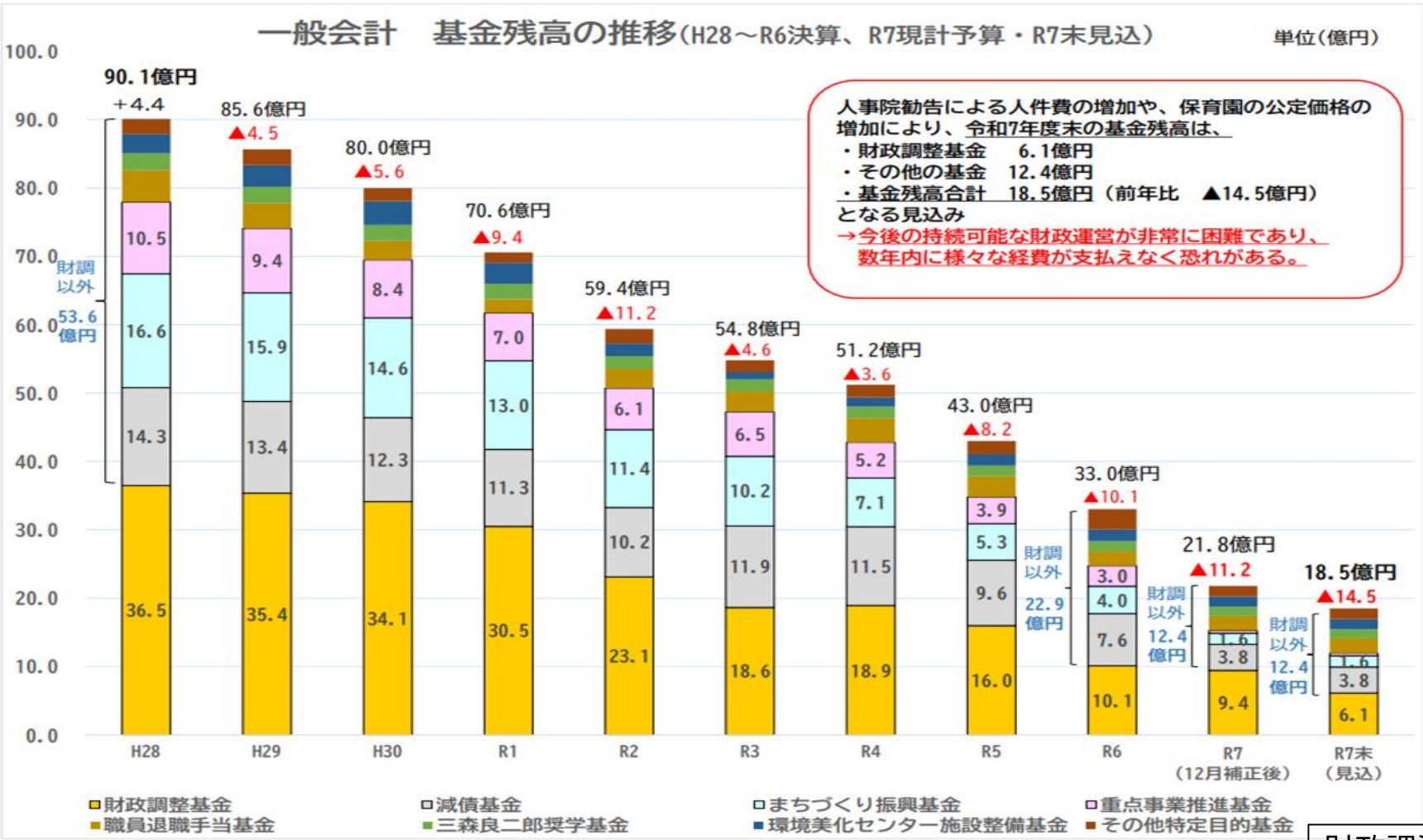
③ 県内11市の状況

(単位：%)

市名	R2	R3	R4	R5	R6	財政の弾力度
金沢市	90.1	84.2	91	89.9	88.4	高 ↑ ↓ 低
羽咋市	92.9	86.6	90.5	89.9	91.1	
小松市	93.1	88.8	91.3	94.7	93.4	
野々市市	96.0	89.8	94.9	94.0	93.9	
七尾市	93.3	89.2	92.0	95.5	94.0	
かほく市	92.4	89.0	91.4	90.8	94.8	
白山市	94.7	88.2	94.9	94.4	94.8	
能美市	90.4	88.4	90.4	93.7	94.8	
加賀市	94.3	89.2	93.4	95.5	95.9	
輪島市	123.6	94.0	96.6	93.6	96.4	
珠洲市	95.6	90.7	95.1	96.8	99.2	

出典：見てわかる加賀市の決算書 令和6年度決算

基金(=市の貯金)残高



概要

一般会計の基金残高は、平成28年度の約90億円をピークに減少傾向が続き、令和6年度には約33億円となっています。

特に、財政調整基金は平成28年度の約36億円から令和6年度には約10億円まで減少しており、同年度の残高は石川県内19市町の中で最も少ない状況です。

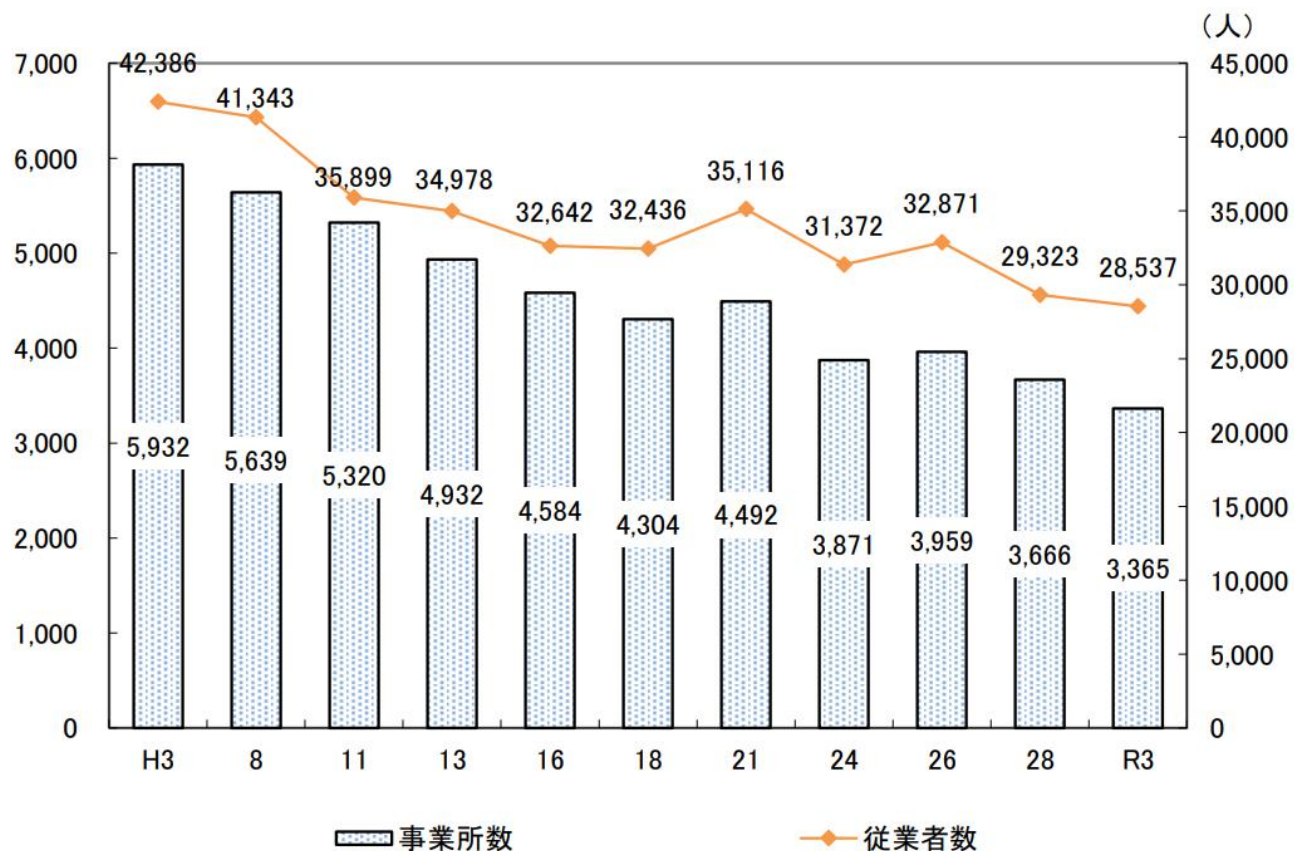
また、減債基金や特定目的基金も含めて全体的に減少しており、将来に向けた財政運営の自由度が低下していることがうかがえます。

03

産業

事業所数・従業者数ともに減少している

事業所数と従業者数の推移(事業所・企業統計調査、経済センサス)



出典:加賀市統計書

概要

事業所数は、平成3年の5,932事業所から令和3年には3,365事業所へ減少しており、地域内における雇用の受け皿の縮小が懸念されます。

また、従業者数も42,386人から28,537人へ減少しており、地域の事業活動を支える担い手が減少しています。

地域産業の活力維持や雇用の受け皿づくり、事業承継・創業支援などが重要な課題であると考えられます。

04

観光

宿泊施設入込客数の推移



出典:加賀市観光統計書(宿泊客・日帰り客の合計値)を基に作成

概要

観光需要は回復傾向にあり、加賀市の強みである温泉・自然・文化を活かす余地があります。

一方で、来訪者数の回復だけでは地域経済への波及は限定的になる可能性があります。

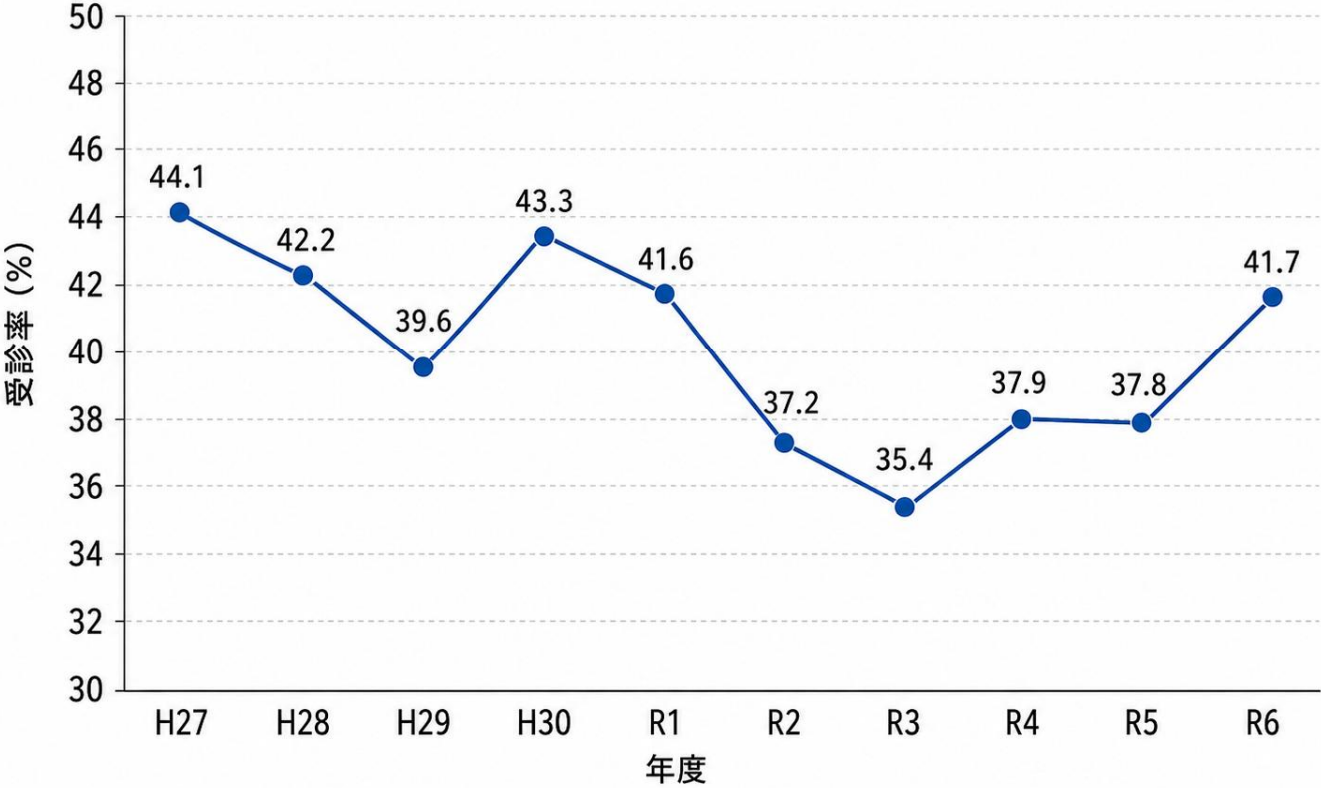
宿泊、飲食、体験、買い物、二次交通をつなぎ、地域内での消費を高める視点が重要です。

05

健康

国保特定健診受診率の推移（10年間）

単位：％



出典：加賀市統計書を基に作成

概要

加賀市の国保特定健診受診率は、平成27年度の44.1％から令和3年度の35.4％まで低下傾向にありました。特に令和2年度から令和3年度にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、受診控えが生じた可能性があります。

その後、令和4年度以降は回復傾向に転じ、令和6年度には41.7％まで上昇しています。ただし、平成27年度の水準までは戻っていないため、引き続き受診勧奨や受診しやすい環境づくりを進めることが重要です。

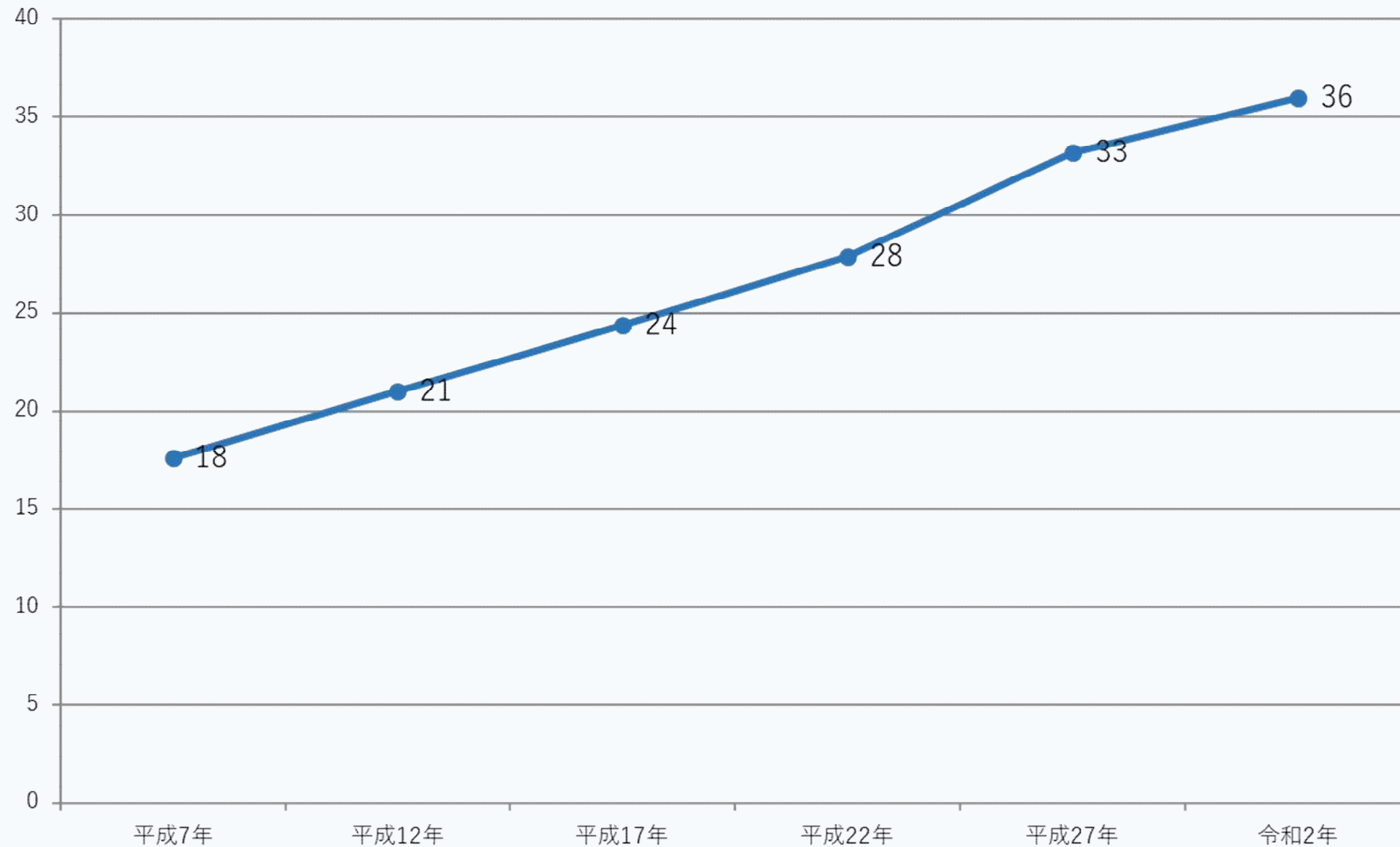
参考資料(統計)

01

人口

高齢化率の推移

※国勢調査ベースの年齢3区分人口のうち、
老年人口を全体人口で割った割合を算出。



出典:加賀市統計書を基に作成

地区別人口・減少率一覧

(4月1日現在)

地区名	H26 (人)	R8 (人)	減少率
山代地区	11,051	9,650	-13%
大聖寺地区	10,762	9,171	-15%
作見地区	7,972	7,305	-8%
片山津地区	5,430	4,363	-20%
動橋地区	4,037	3,739	-7%
河南地区	4,218	3,596	-15%
温泉地区	2,961	2,113	-29%
分校地区	2,281	2,133	-6%
橋立地区	3,014	2,414	-20%
庄地区	2,397	2,062	-14%
金明地区	2,123	1,809	-15%
湖北地区	2,051	1,834	-11%
勅使地区	1,685	1,506	-11%
南郷地区	3,266	2,850	-13%
三木地区	1,640	1,335	-19%
三谷地区	1,723	1,329	-23%
別所地区	1,302	1,151	-12%
東谷口地区	1,005	800	-20%
西谷地区	894	625	-30%
塩屋地区	740	517	-30%
東谷地区	333	236	-29%
総合計	70,885	60,538	-14.6%

出典:加賀市「世帯及び人口数」掲載データ『町別男女別人口及び世帯数(全データ)』を基に作成

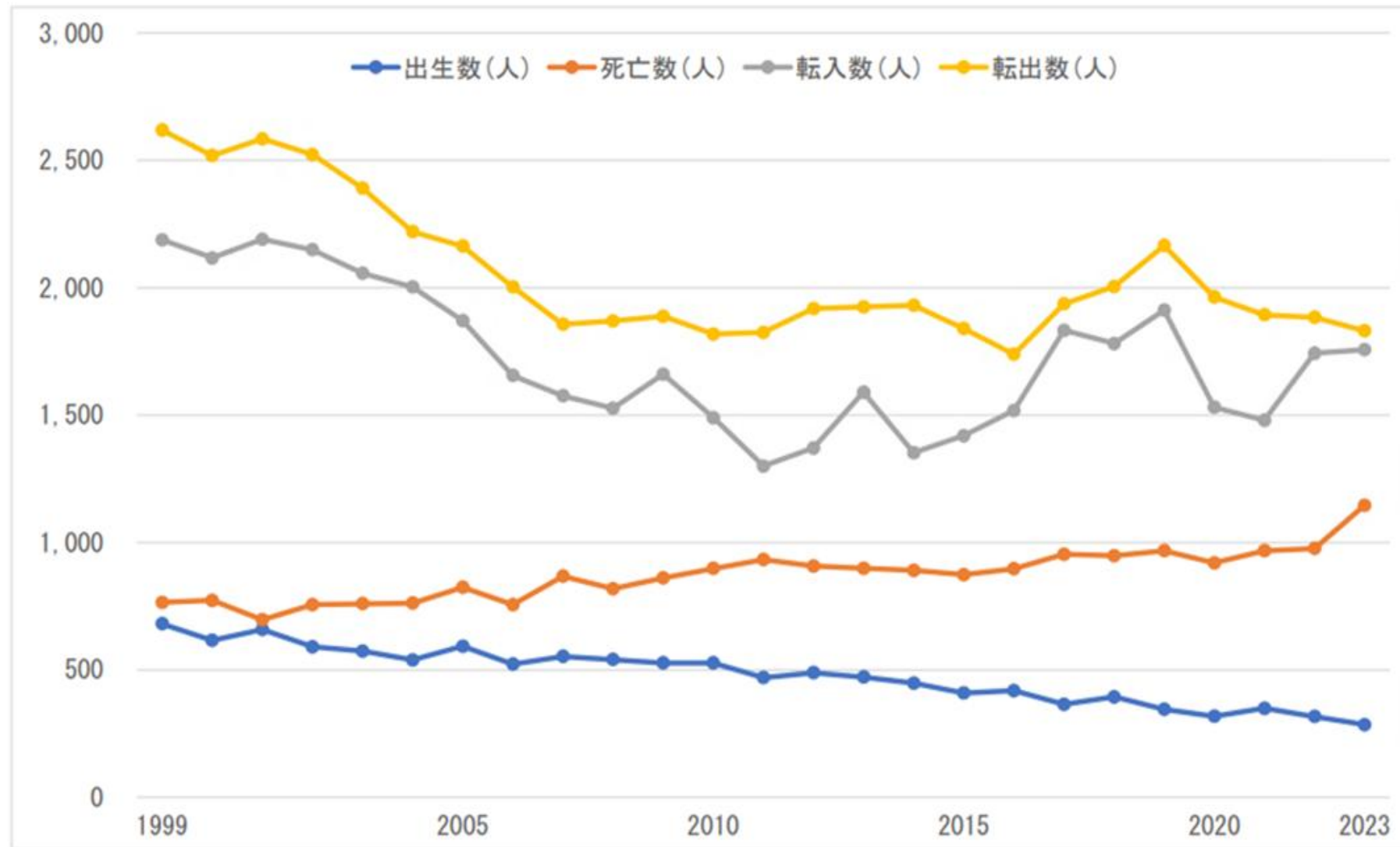
女性人口の推移(人)



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 ※令和2（2020）年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、令和7（2025）年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値

自然増減・社会増減

再生プロジェクト検討会 説明資料

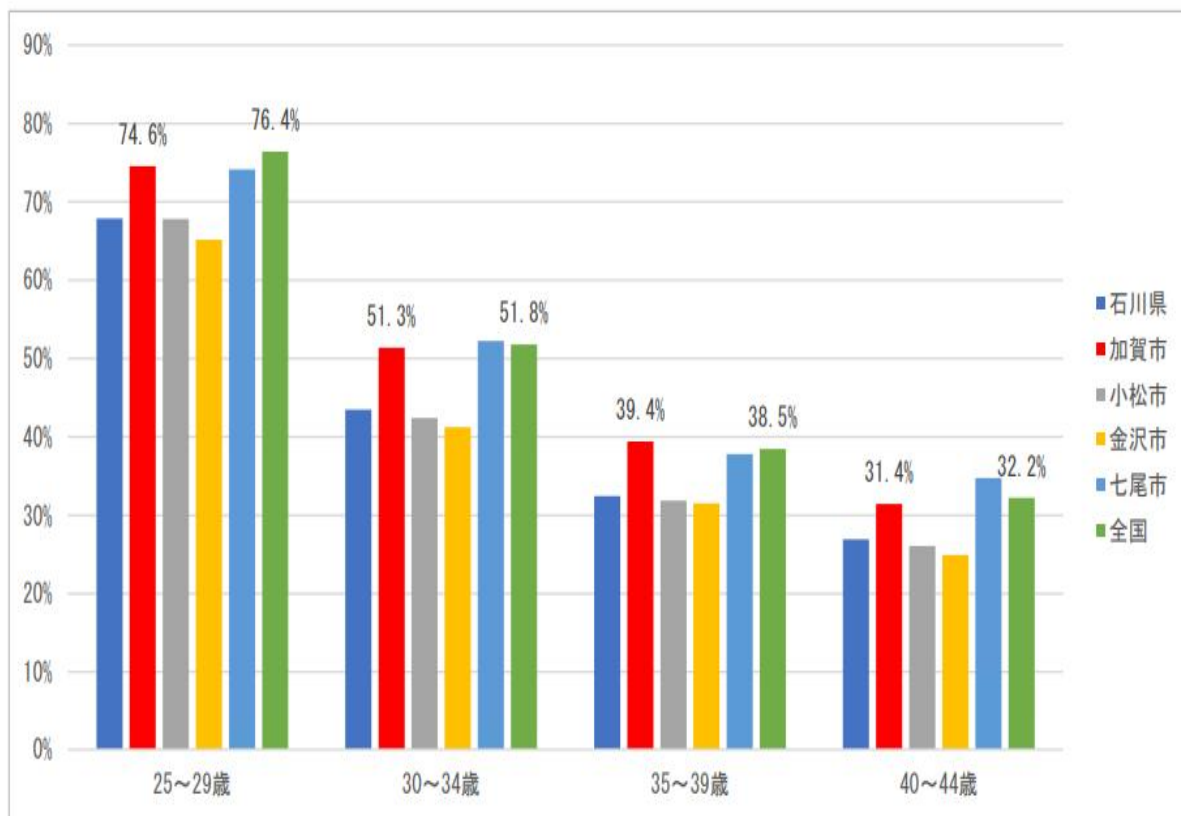


出典：加賀市統計書

未婚率の比較

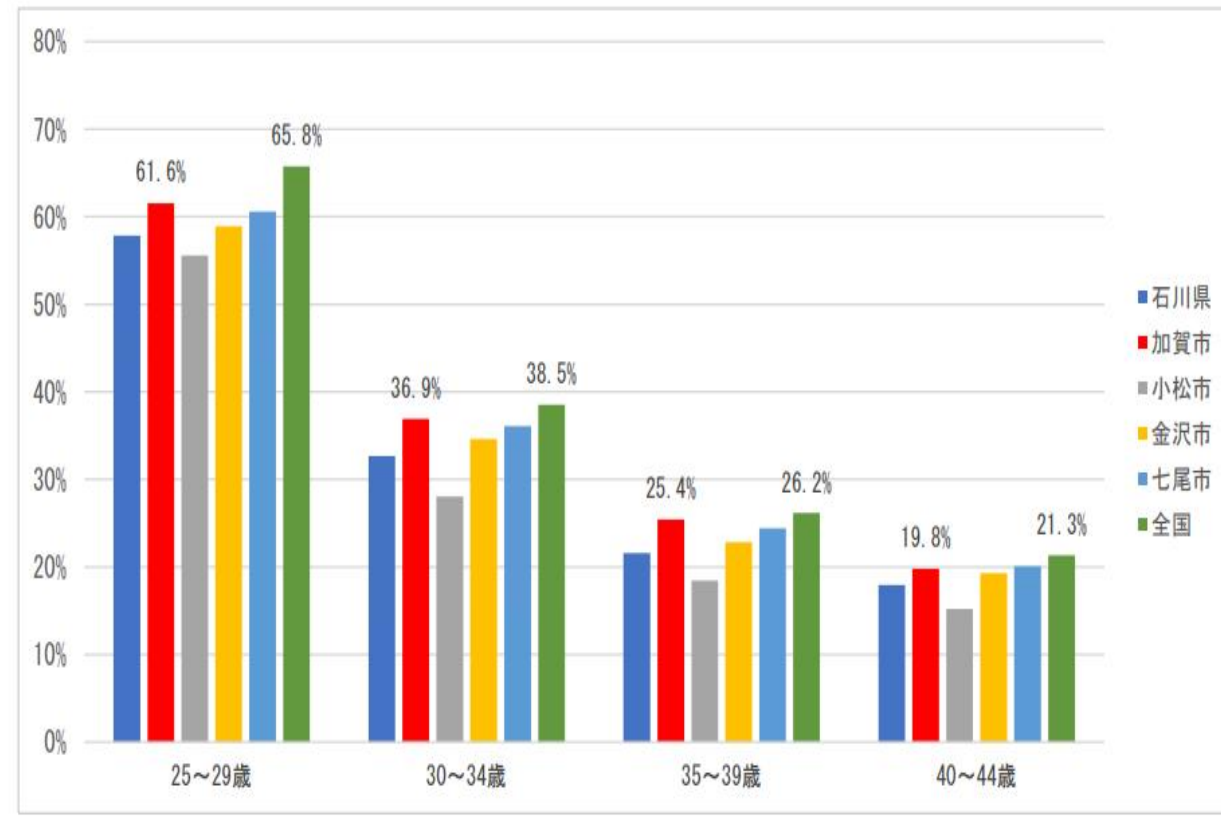
再生プロジェクト検討会 説明資料

男性



出典：令和2（2020）年国勢調査

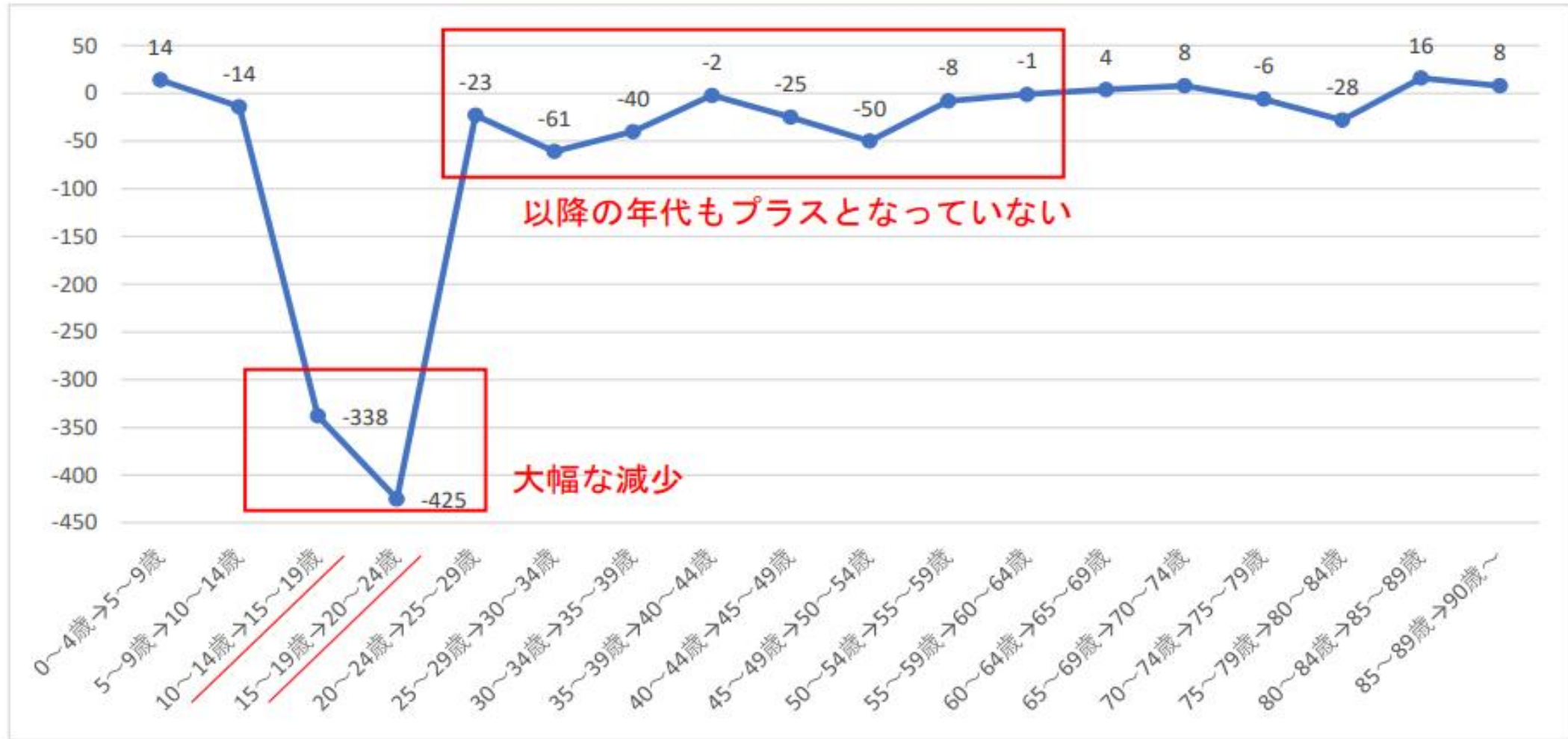
女性



出典：令和2（2020）年国勢調査

年齢階級別人口移動の推移(H27→R2) 再生プロジェクト検討会 説明資料

※5歳ごとの年齢階級が5年間でどれだけ社会増減したかを表す。

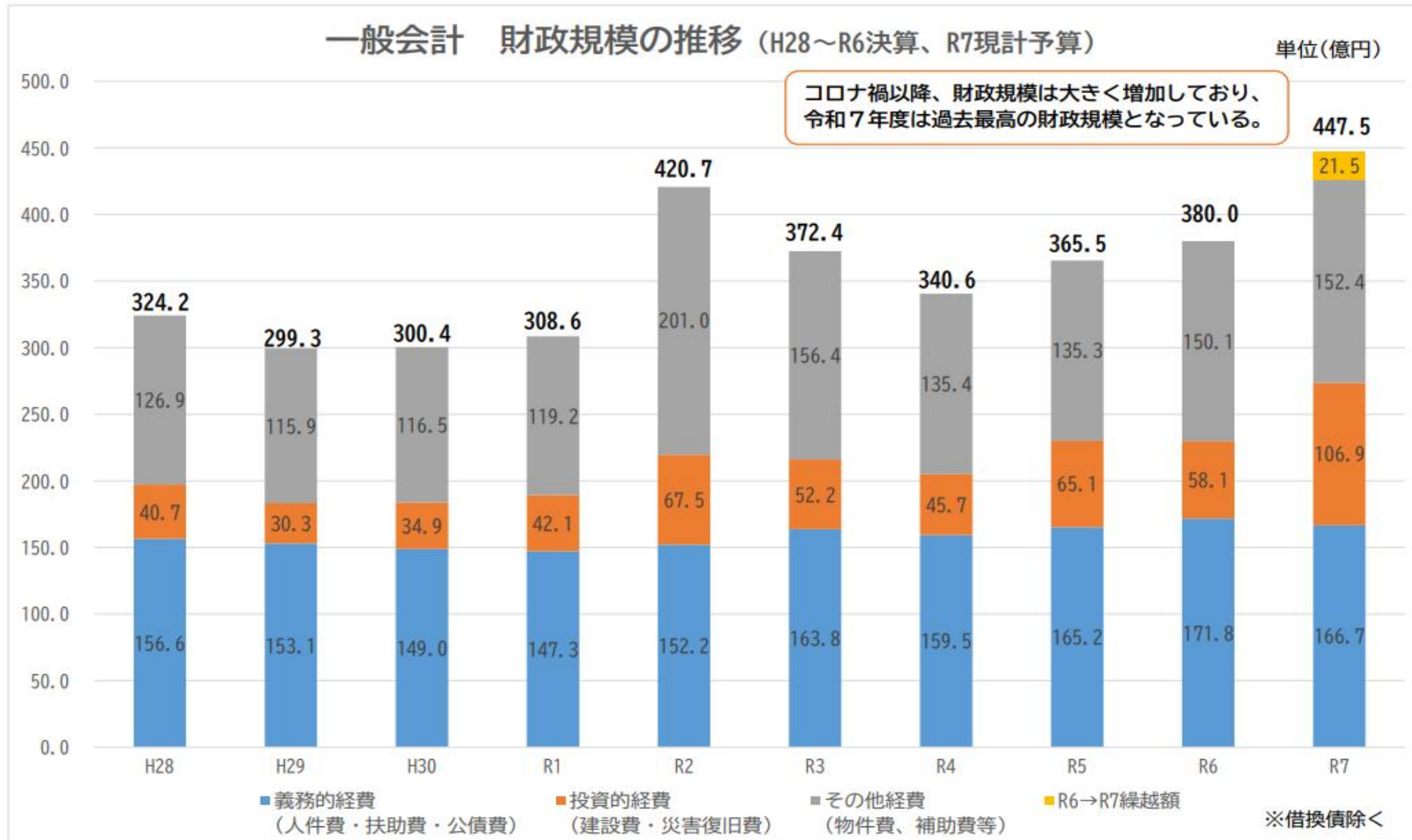


出典：国勢調査

02

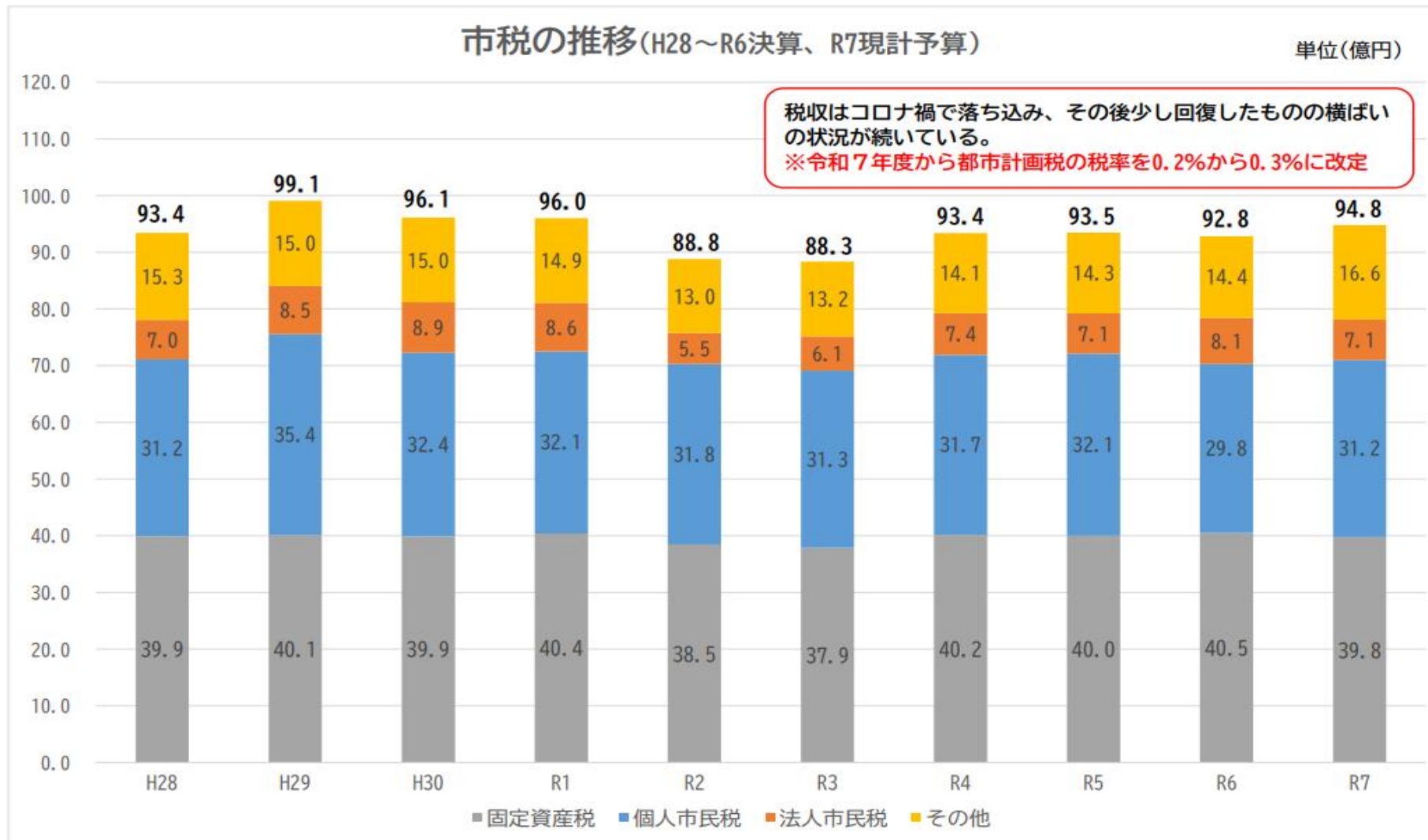
財政

財政規模の推移



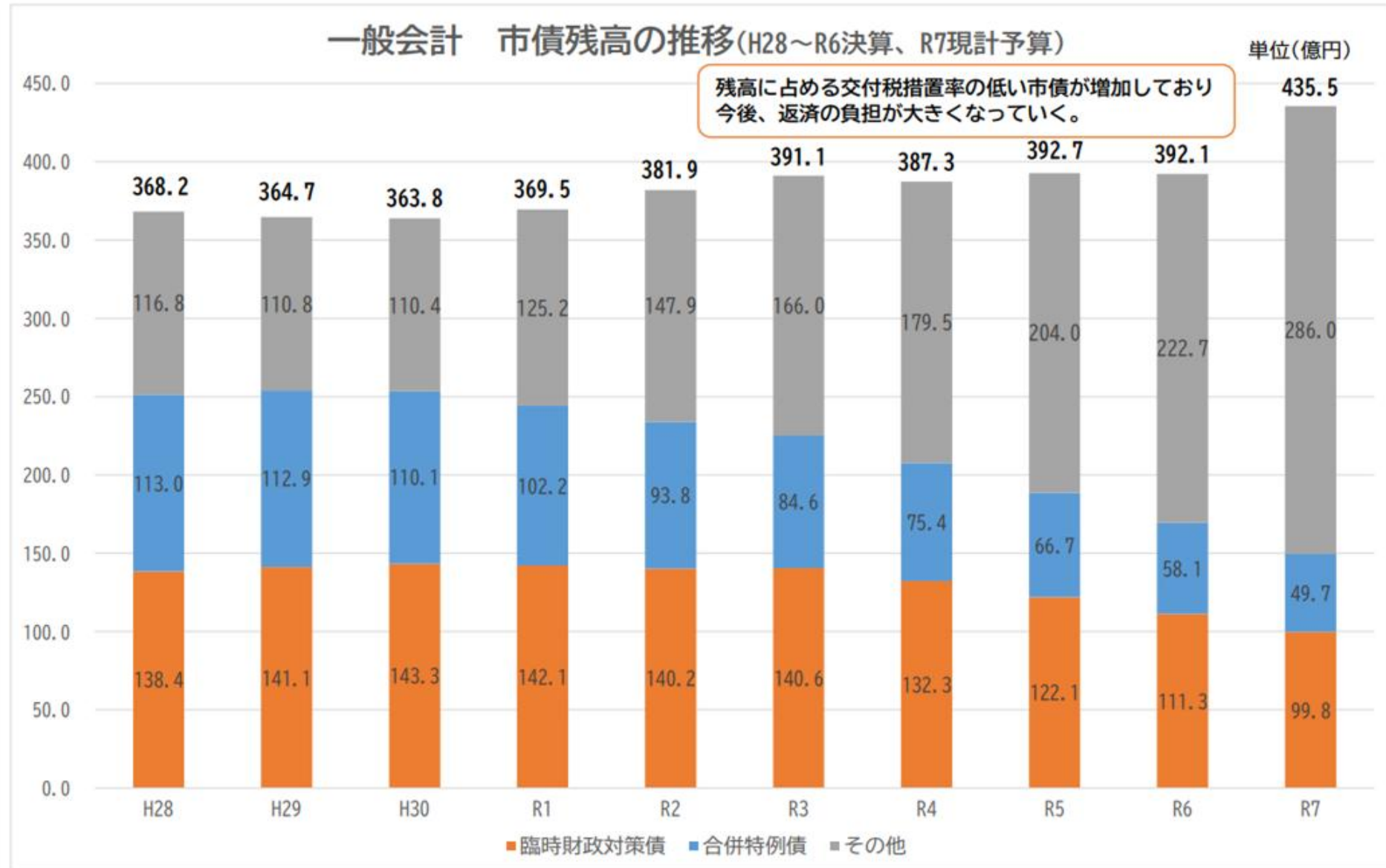
※R7現計予算
は9月補正後
のもの

市税の推移



※R7現計予算
は9月補正後
のもの

市債(=市の借金)残高

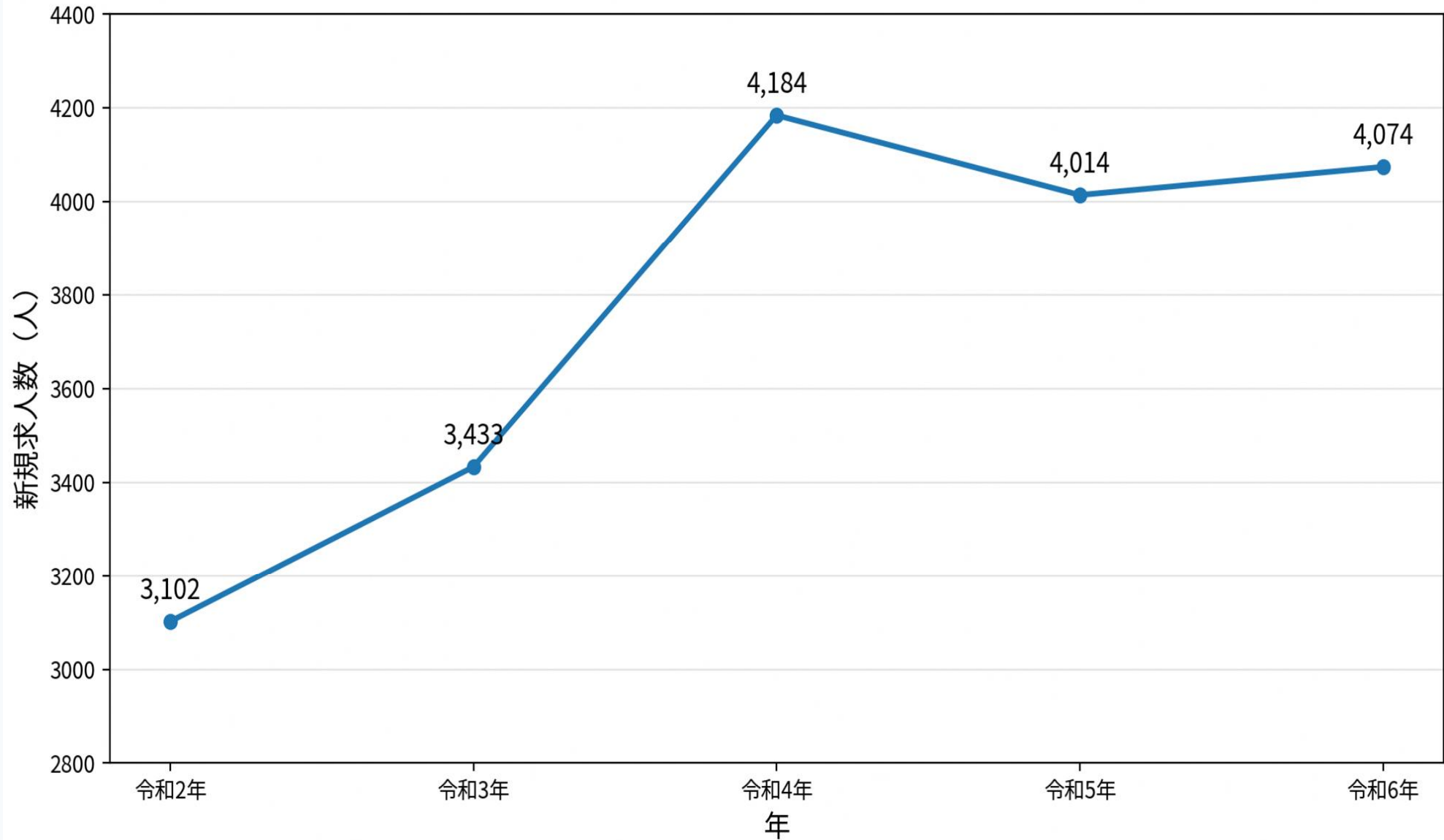


※R7現計予算
は9月補正後
のもの

03

産業

加賀市の新規求人数の推移

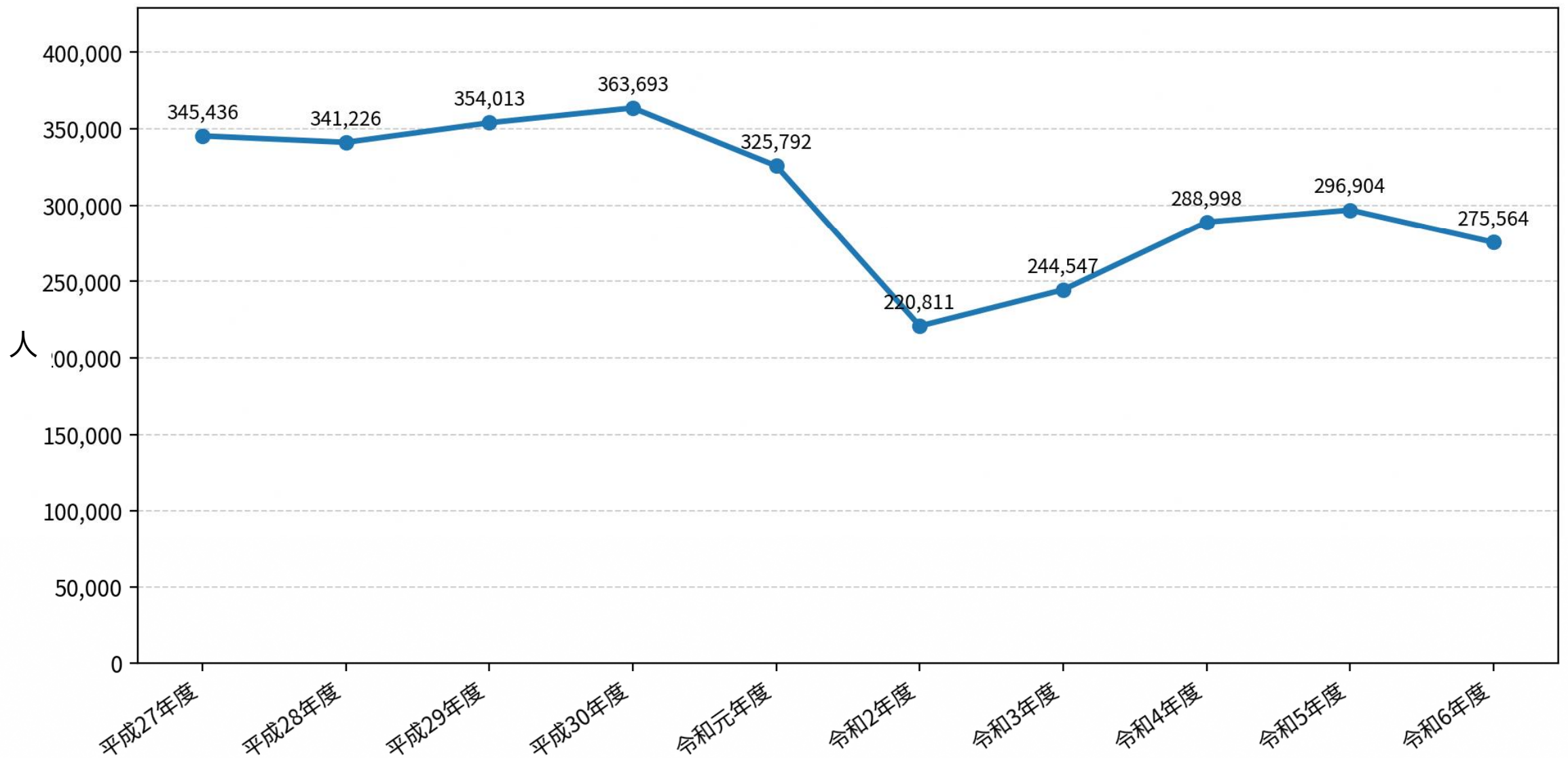


出典：加賀市統計書「一般職業紹介状況（学卒およびパートを除く）」をもとに作成

04

健康

体育施設利用者数の推移（過去10年）

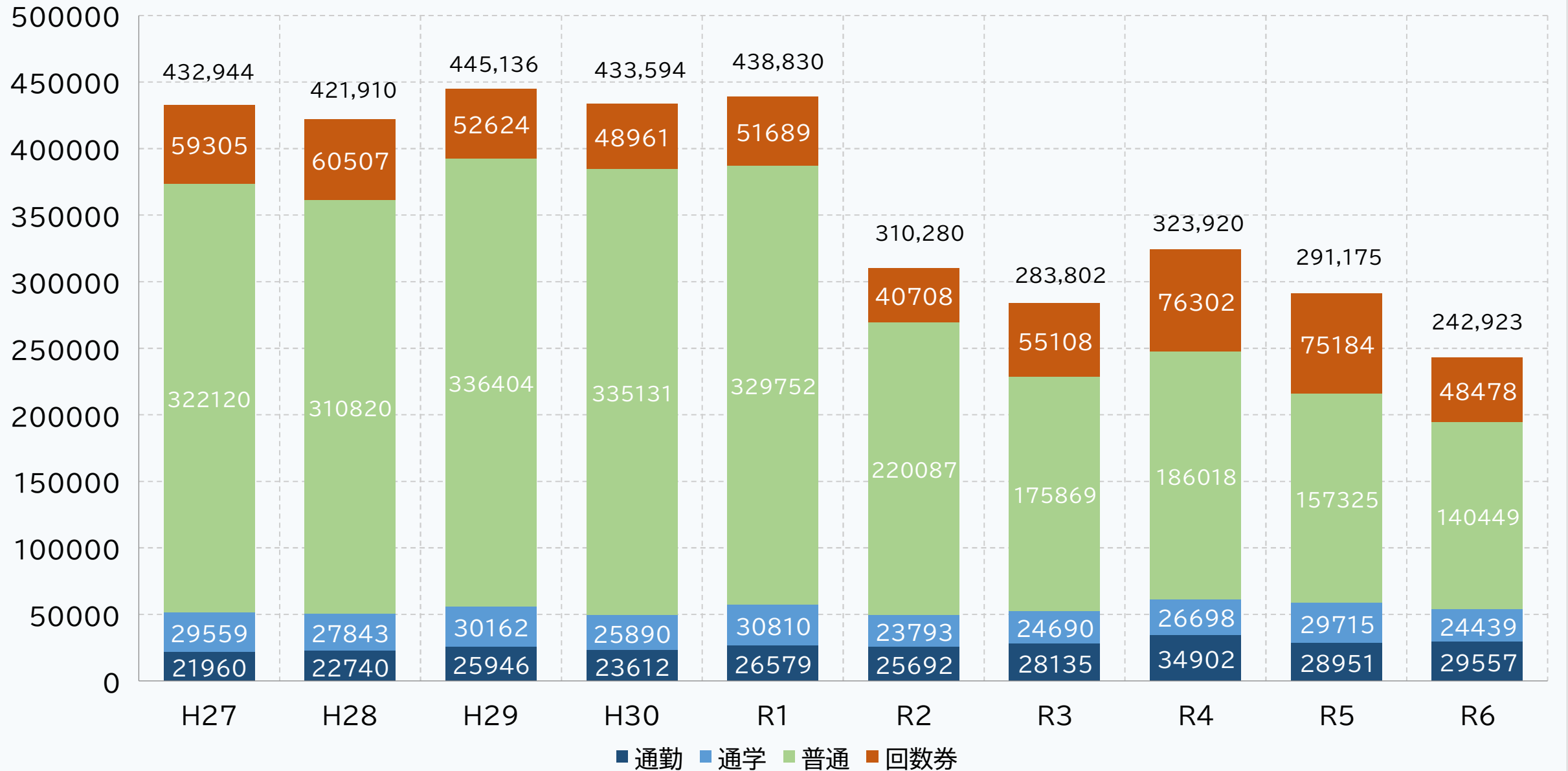


出典：加賀市統計書「体育施設利用者数」を基に作成

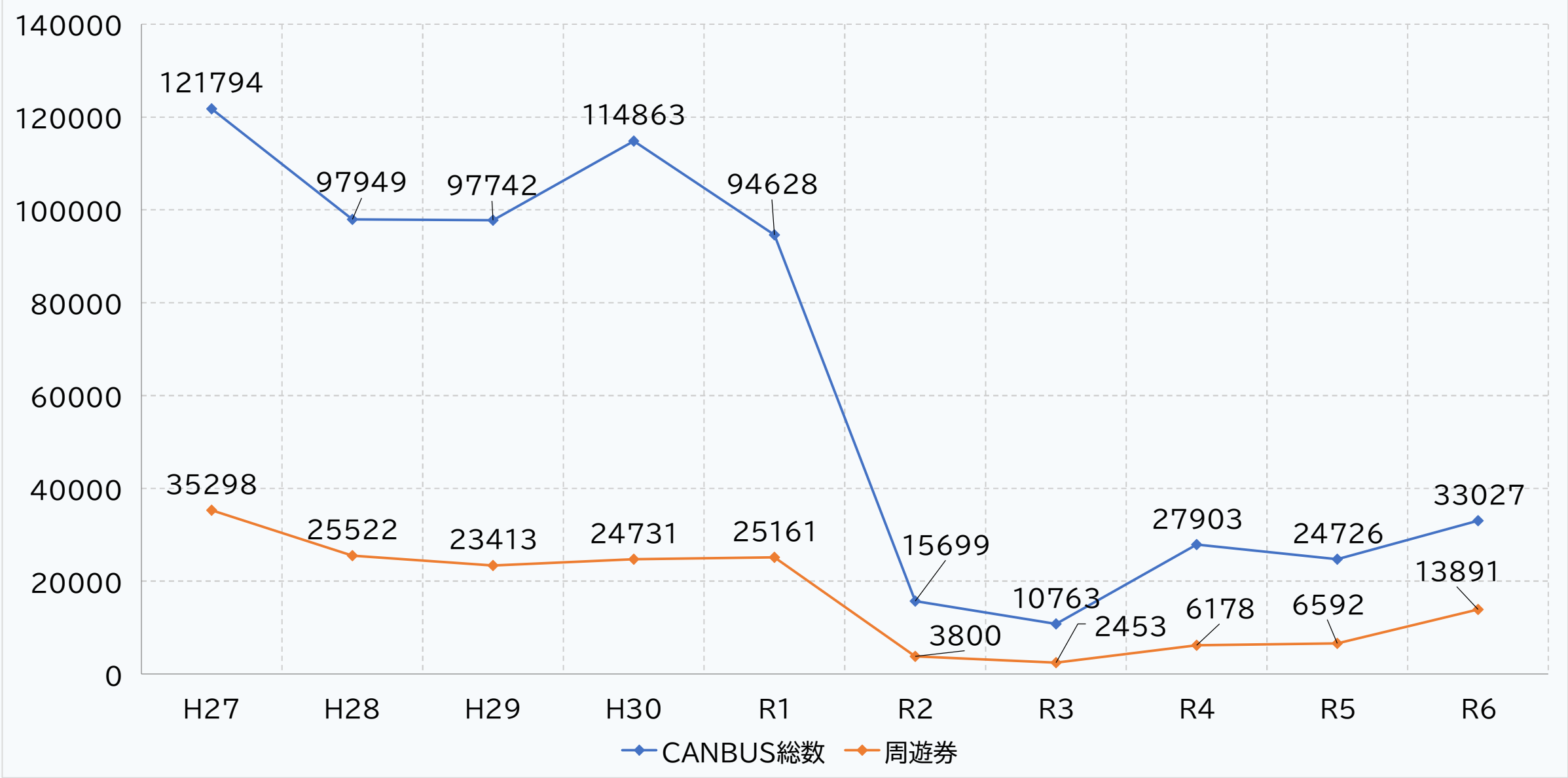
05

交通

北鉄加賀バス乗客数の内訳推移



CANBUS乗客数の推移



出典:加賀市統計書を基に作成